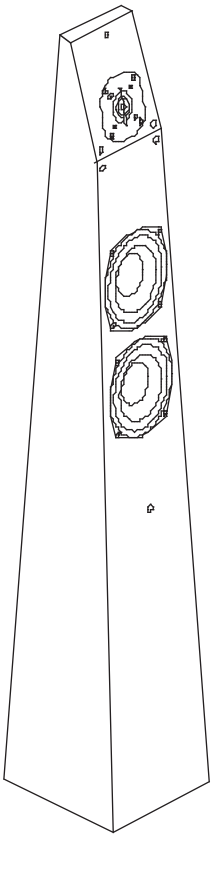
AVALON

ACOUSTICS

SYMBOL

Series III

取扱説明書



株式会社太陽インターナショナル

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-12-9

日本橋グレイス 1F

Tel : 03-6225-2777 Fax : 03-6225-2778

〈URL〉 http://www.taiyo-international.com

目次

１　はじめに.......................... 2

２　開梱する際に.......................... 2

３　開梱する.......................... 3

４　台座とスパイクを取り付ける.................... 4

５　スピーカーケーブルを接続する.................. 5

６　バーン・イン（試運転期間）.................... 6

７　性能を最大限まで引き出すために................ 7

８　お手入れについて.......................... 9

9　故障かな？と思ったら........................ 10

10　アフターサービスについて.................... 10

11　仕様.......................... 11

12　問い合わせ先.......................... 12

太陽インターナショナル

1. はじめに

私たちは、最新の映画音楽に録音されている三次元スペースを再生できるよう、Symbol3 スピーカーシステムをつくりました。

今まで培われた経験（調査、デザイン、試聴、製造）を応用し、さらに最新のテクノロジーを活用して私たちは卓絶したシステムを作り上げました。

Symbol3 は２ウェイスピーカーです。独自に開発した複合素材のツィーターと独自のセラミック・ウーファーを採用しました。専用のドライバー／キャビネット整列によって、中高域は正確でかつ繊細そして低域をサポートし、スムースにそして均等に音を分散させます。

2. 開梱する前に

AVALON Symbol3 スピーカー・システムは、ダンボール箱に梱包されています。商品をお受け取りになったときに、箱の状態をご確認下さい。箱に損傷がある場合、輸送会社、販売店または当社にご連絡下さい。

開梱後のカートンケース、及び内部パッキン等は、後日の修理及び引っ越し等で輸送される場合を考え、お手元に保管くださるようお勧めします。

※ 本製品は米国アヴァロン・アコースティックス社、及び株式会社太陽インターナショナルにおいて外観、機能ともに入念なチェックを重ねて出荷しておりますが、輸送中などの万一のトラブルを考え、ご使用になる前にどこかに損傷がないか必ずご確認ください。また到着したスピーカーが正しく動作しないときは、すぐお買い求めの販売店までご連絡ください。

製品にはスピーカー本体（２本）とアクセサリー箱があります。アクセサリー箱には下記の物が入っています。

・スパイク（８個）　・六角ナット（８個）　・ボルト（８個）　・ワッシャー（８個）
・スパイク用台座（８個）　・トゥイーター部グリル（２個）　・取扱説明書　（１部）
・保証登録カード（１部）

AVALON Symbol3 スピーカー・システムは、音のパフォーマンスと美学のためにペアマッチングされています。２本のスピーカーのシリアル番号は連番となります。

製品が到着しましたらスピーカーの底に記されているシリアル番号と保証登録番号が一致しているか確認してください。

太陽インターナショナル

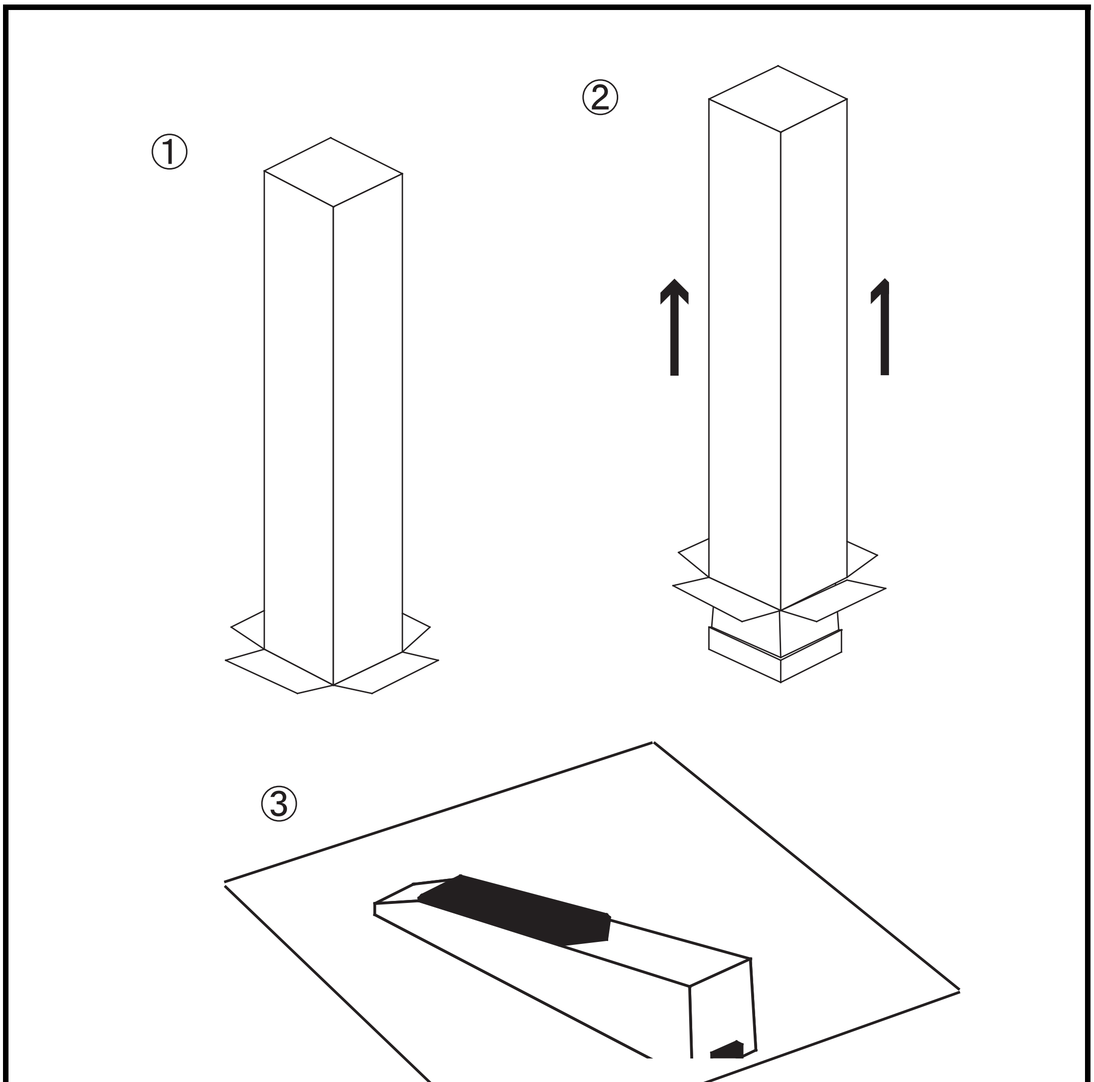
3. 開梱する

① 丁寧に「OPEN THIS END」(底側)と記している側を開き、開いた側を下にして立てます。

② 垂直にダンボールを持ち上げます。

③ 次に、傷が付かないように柔らかい毛布や絨毯などを敷き、その上にスピーカーを横たえます。

スパイク用台座を取り付けます。スパイクは最終的なセッティングが終了してから取り付けることをお勧めします。(取り付け方は後述参照)



太陽インターナショナル

4. 台座とスパイクを取り付ける

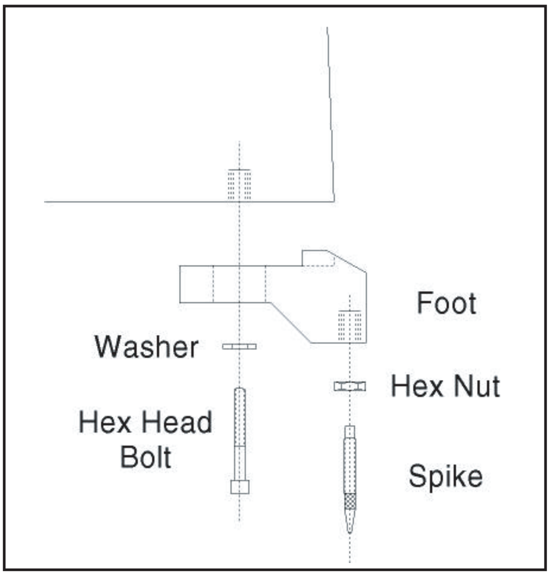
アクセサリー箱にある、台座、ワッシャー、ボルト、スパイク、六角ナットを準備します。

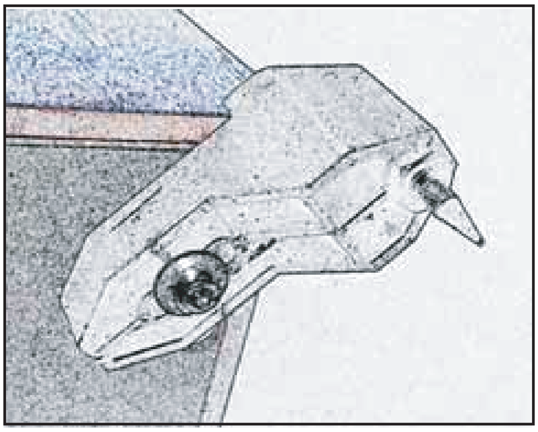
スピーカーを設置する場所を決めましたら、下図のようにワッシャーとボルトを使用し、台座をスピーカーの底に取り付けます。

次にスパイクと六角ナットを使用して台座にスパイクを取り付けてください。そのとき４本のスパイクが同じ長さになるように取り付けます。

最後にスピーカーを立て、水平になるようスパイクの長さを調整してください。

＜注意＞台座を取り付ける際に、六角ボルトを強く締めすぎないよう注意してください。強く締め付けすぎると破損するおそれがあります。





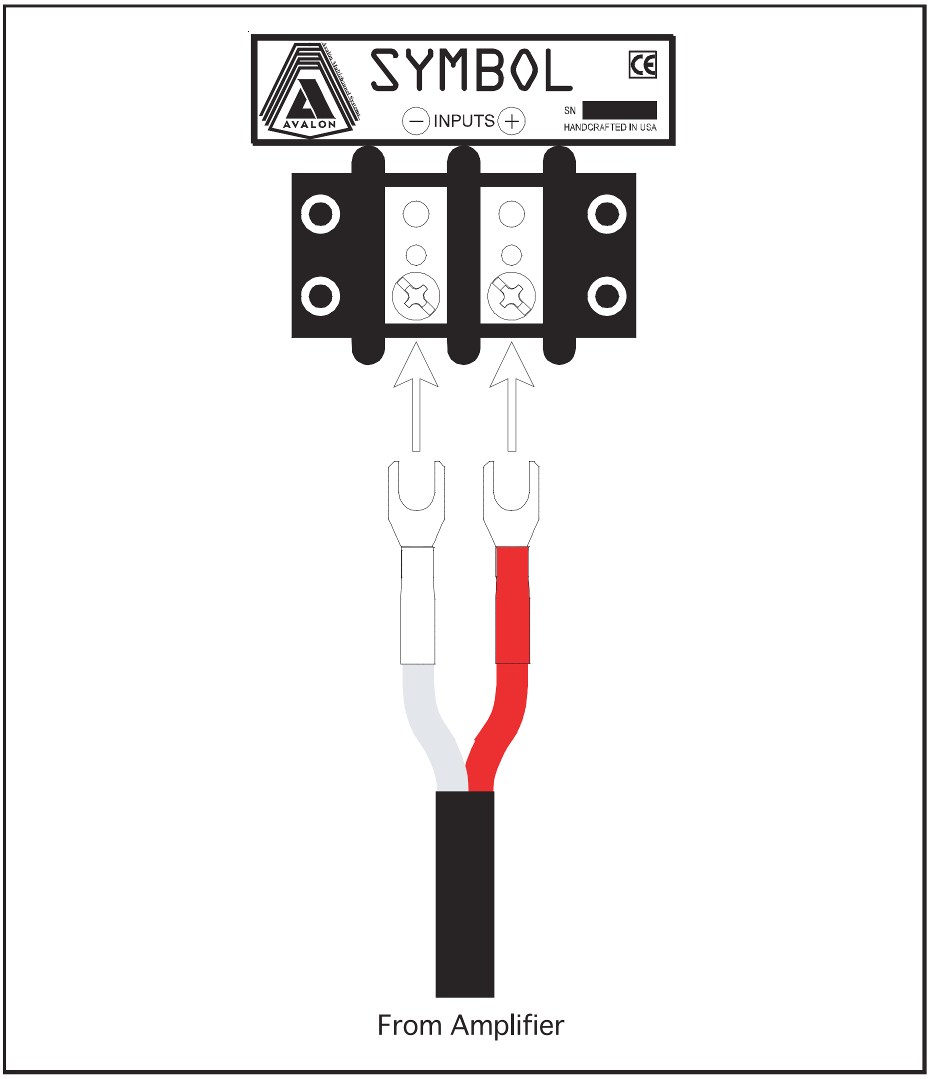
5. スピーカーケーブルを接続する

スピーカー本体を設置する場所に置き、傷がつかないような毛布や絨毯などの柔らかい表面を持つ敷物の上にスピーカーを横たえます。

スピーカーの底にあるターミナルブロックと、スピーカーをケーブルで接続します。ケーブルのプラス「＋」はプラス極に、マイナス「−」はマイナス極に正しく入れます。

最後にスピーカーを起こし、立てます。

＜注意＞スピーカーターミナルにスピーカーケーブルを取り付ける際に、ねじを強く締めすぎないよう注意してください。強く締め付けすぎると破損するおそれがあります。



6. バーン・イン（試運転期間）

このSymbol3スピーカーシステムにはバーン・インが必要です。最初にスピーカーシステムから音を初めて出した時は、スピーカー本来の音ではありません。これはパーツ、特に絶縁体を使っているクロスオーバーキャパシティや内部配線などがこなれていないからなのです。スピーカーから音楽が演奏されている時でも、音楽信号はこれらの材料を徐々になじましていきます。同様にスピーカーが演奏し時間が経つにつれて、本来の実力に近づいていきます。バーン・インのプロセスは、音楽の演奏中に自然に進んでいきます。バーン・インの必要時間を減らすために、CDプレーヤーをリピートモードで繰り返し演奏させるか、FM放送などを使ってシステムを連続的に演奏なさることをお勧めします。

最初に3～6時間くらい静かな音楽を演奏し、徐々に内部を暖めていくとよいでしょう。その後100～150時間、大きめな音ででダイナミックな音楽を演奏させることをお勧めします。

試運転期間中、スピーカーシステムは様々な部品が異なった進み具合でバーン・インされていきます。ですからスピーカーシステムの最終セッティングはバーン・イン期間が完全に終了したあとに行った方が効率的です。バーン・イン最終段階では音のイメージが拡がり、サウンドステージは明瞭に、低域コントロールとインパクトが増加し、そして全体的に音は更にリラックスして楽しめ、リスナーは音楽により埋没することが出来ます。

太陽インターナショナル

7. 性能を最大限に引き出すために

［グリル］

　フェルトで覆われているグリルの部分はスピーカーのデザイン上、必要不可欠なものです。他のスピーカーと違い、アヴァロンのスピーカーはグリルを外さずに演奏することを前提として設計されています。グリルを外して演奏することは再生音の品位を下げてしまいかねません。グリルがスピーカーバッフル面に接し、グリルピンがきっちりと所定の場所に入ることが大切で、グリルにより再生音がより優れたものになるのです。

［スピーカーの位置と左右対称］

　アヴァロンのスピーカーのダイナミックな演奏を向上させるのに適した設置位置を決定します。次の３点が、スピーカー設置場所の要点です。

- 部屋の左右対称的に設置することはバランスのあるサウンドステージに効果的です。
- スピーカーの後壁面との距離を大きく取るにつれ、音像に奥行きがでていきます。
- 側壁と後壁の距離とを違えることによって、より望ましい帯域反応が得られます。低域においてもその効果は顕著です。

［トゥ・イン］

　スピーカーを内振りにするこは、リスニングルーム内でシステムの能力を最大にするためのファインチューニング方法として大変効果があります。スピーカーが正面方向を向いている時には音が大きく広がり、音圧レベルが大きく、大きな絵筆で撃つような音楽描写になる傾向があります。リスナーに向かってスピーカーの角度を内振り（トゥ・イン）にすると、イメージは更に引き締まり、焦点が定まり、緻密な音像が得られます。

　まずスピーカーを正面に向け、モノラルまたはステレオでセンターイメージのはっきりした音源のソースで演奏を始めます。イメージがちょうど正確に中心にくるように注意深くすこしづつトゥ・イン角度を変えていきます。先端部の角度調整はかなり繊細です。最も優れた演奏が得られるようにいろいろと試してください。わたしたちの経験では最適トゥ・イン角度は３度から１０度の間で満足できる結果を得ました。

［スパイク］

　Symbol3 スピーカーシステムには８個の台座とスパイクが付属しています。スピーカーと床面を物理的に一体とするためにスパイクを使用します。これは、焦点をはっきりさせて、サウンドイメージをより明晰なものにします。

　無垢のフローリングなどの場合には、表面を保護するためにスパイクベースが市販されています。しかしながら、若干ですがスパイクの効果は減少します。

　トゥ・イン角度とスピーカー設置位置が最終的に決定したら、台座にスパイクを取り付けます。

太陽インターナショナル

[一時反射点]

人間は耳によって音を受け取り、能の聴覚はそれを感知し、１０ミリセカンド以内に音を統合し認識することが出来ます。反射音は直接音にくらべて遅れて耳に届くということで、その反射する一次反射点を抑えることは大変重要です。硬質な壁はこの一次反射によってサウンドステージを壊してしまいかねない強い反射を発生させます。この反射は直接音と重なり合い、システムの音色のバランスも変化させるので、一次反射を抑えるよう、そのスポットを抑えることをお勧めします。

[コーナーの処理]

スピーカーの後方、リスニングルームのコーナーで起こる低音の一次反射の抑制もまた大切です。この一次反射は位相、増幅度について著しい歪みをもたらし、結果として不明瞭でスピード感のない低域となってしまいます。QRD システムなどで部屋のコー

8. お手入れについて

[キャビネット]

アヴァロン・スピーカーは天然木を使用し、高品質木製家具用ラッカーを使用して完成されています。常に清潔な柔らかい布を使用してキャビネットをお手入れしてください。スピーカードライバー付近は特に慎重に、振動版を不必要に接触して破損しないように念入りにお手入れしてください。。

＜注意＞アンモニアを含んだクリーナー、強い溶剤、研磨剤などの用品は使用しないでください。これらはスピーカー表面を著しく劣化させ、傷を付け、または破損するおそれがあります。

[グリル]

グリルはキャビネット本体から取り外し、丁寧に掃除機で塵、埃などを吸い取ります。もしフェルトが外れてしまったなら、フェルトの表側と裏側の仕上げに注意してセットしてください。トゥイーターのホールはベベル角度がある方がリスナーに向かうようになっています。

[ドライバー]

ドライバー自体には定期的な保守は不要です。破損しやすいのでトゥイータードームは触らないでください。必要なら、ウーファーコーンの埃などを払うには小さい柔らかいブラシをご使用ください。

太陽インターナショナル

9. 故障かな？と思ったら

故障とお考えになる前に、下記の点を確認してみてください。

音が出ない

・オーディオケーブルは、正しく接続されていますか。
・アンプのヴォリュームは、上がっていますか。
・アンプのラインセレクターは、合っていますか。
・ミュートボタンが押されていませんか。

以上、上記の項目をご確認の上なお製品に異常が見られる場合は、お買い求めの販売店又は当社サービス課までご相談ください。

10. アフターサービスについて

・同封の保証登録カードに必要事項をご記入の上、ご購入後１０日以内にご返送ください。折り返し当社発行の保証書をお送りいたします。規定通りの手続きをなさらないと、保証期間内でも有償修理となる恐れがありますので、ご注意ください。なお、「保証書」は製品無償修理の際、必ず必要となりますので、お客様ご自身で記載内容をご確認の上、大切に保存してください。

・保証期間はお買い上げより１年です。保証期間内に正常なご使用状態で起きた故障等は保証書記載事項に基づき、無償修理いたします。

・故障と思われる場合にはこの取扱説明書をよくお読みになり、再度接続と各部の動作、点検をしていただきなお異常のある場合には、お買い求めの販売店、又は当社サービス課までご連絡いただき、修理をご依頼ください。

11. 仕様

スピーカー	セラミック・ドームトゥイーター	2.5cm
	セラミックーコーティング・ウーファー	2×12.7cm
音圧レベル	86 dB (2.38 V、1 m)	
インピーダンス	5 Ω（最低 3.5 Ω）	
周波数特性	45Hz ～ 24 KHz （+/-1.5 dB, 無響室内において） （室内反応は通常 35 Hz 以下の帯域で＋／ー 3dB)	
最適アンプパワー	30 ～ 150 W	
ワイヤリング方法	2 ポジション ターミナルブロック	
外形寸法 (cm)	109（H）×20（W）×23（D）	
重量	16 ｋｇ（一機）	

太陽インターナショナル

13　問い合わせ先

株式会社太陽インターナショナル

〒103-0027

東京都中央区日本橋 2-12-9　日本橋グレイスビル 1F

TEL ： 03-6225-2777（代表）

03-6225-2779（サービス課）

FAX ： 03-6225-2778

ホームページ： http://www.taiyo-international.com